

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
家事支援技術Ⅱ Household Supporting SkillsⅡ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(特になし)	2年次
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟3F	授業内に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。生活支援としての家庭の経営や管理、衣服の洗濯、寝具の管理、掃除、ゴミ捨てや買い物など、変化する生活環境に対応しつつ、基本的な生活経営ができるよう知識と技術の習得を目指す。また、ICFの視点に基づき、安全で心地よい生活の場となるよう家事支援内容について学習する。				
授業の目標				
高齢者、障害者の身体的な特徴を理解し、衣服の選び方や洗濯、管理、快適な着用法、寝具の管理、掃除、ゴミ捨てや買い物、家庭の経営や金銭管理など、介護支援のための知識、判断力、技術を体得し、基本的な生活運営ができるよう技術を身につける。				
授業の方法				
テーマ別に授業形態は異なる。実習・実技、視聴覚教材の使用、事前に提示された課題のグループ、個人ワークで取り組むなど。また、発表により、多様な家事支援技術の実践・応用力をつける。				
学習の成果（学習成果）				
利用者の状況に応じた家事支援がスムーズにできることが、実践の場で求められるため、細かな支援に気づき、行動できるよう、実習や発表をとおして、考え方を共有し今後の家事支援の応用力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、成績評価）			
第2回目	衣類素材の種類と取扱い、衛生管理			
第3回目	衣服・寝具の衛生管理			
第4回目	衣類の洗濯、汚れ落とし、素材別洗剤の種類、乾燥の仕方			
第5回目	衣類の補修、保管、 クリーニング			
第6回目	心地よい衣生活支援、色彩、素材、デザインによるコーディネート ①			

第7回目	心地よい衣生活・寝具環境支援、色彩、素材、デザインのコーディネート ②	
第8回目	人体の構造、機能に考慮した衣服改善、障害者別衣服のリフォーム、作品製作（ユニバーサルファッション）	
第9回目	高齢者居室の掃除、注意点、掃除の仕方	
第10回目	ゴミ捨て、分別・エコライフ	
第11回目	買い物支援、家庭経営支援	
第12回目	家計管理・移動手手段、支払方法、購入方法	
第13回目	睡眠の介護・技術支援、補助マット利用、香の利用	
第14回目	自立に向けた生活支援・安眠を促す支援、快適な寝床環境づくり、温熱効果（素材・間）	
第15回目	家事に参加することを支える介護、自立に向けた技術支援（節季の室礼）、QOL向上のための支援、まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	実習、実技、ワークなどの毎回異なる授業に、積極的に参加し、取り組むことができていたか。提出物の完成度は良いか。
レポート	30%	課題に対し、適切に調べまとめているか。期限に提出されたか。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	40%	学生自ら、創意工夫した内容で、まとめているか。支援の方法を共有し、発表方法に家事支援の幅を広げる工夫がされているか。発表の提出物は丁寧にまとめられ、完成されているか。
その他		
教科書と参考図書		
生活支援技術 I（1年次購入）	授業内容に応じて資料配布	
履修上の留意点・ルール		
実習等の材料実費は相談後、徴収する予定。目的意識を持ち積極的に授業に臨む。授業の進行、他者に迷惑になる行為厳禁。		